

2. 泥炭厚調査結果

1) 調査目的

羅臼湖線歩道の問題点として、既設木道の杭の打ち込みによる乾燥化進行の可能性が挙げられている。本調査では乾燥化が進行したと見られる箇所において、泥炭層の厚さを測定し、既設木道の杭の打ち込みによる乾燥化への影響を把握することを目的とする。

2) 調査日

2011年8月9日（火）

3) 調査方法

ハンドオーガー（φ100mm）を使用して採泥する。採泥後の穴は、採泥で埋め戻す。

掘削深は、既設木道の杭の深さが1,200mm（木道標準図より）であることから、1,500mmとした。（図2-1参照）

- ・ 採泥深：1,500mm
- ・ 穴径：100mm

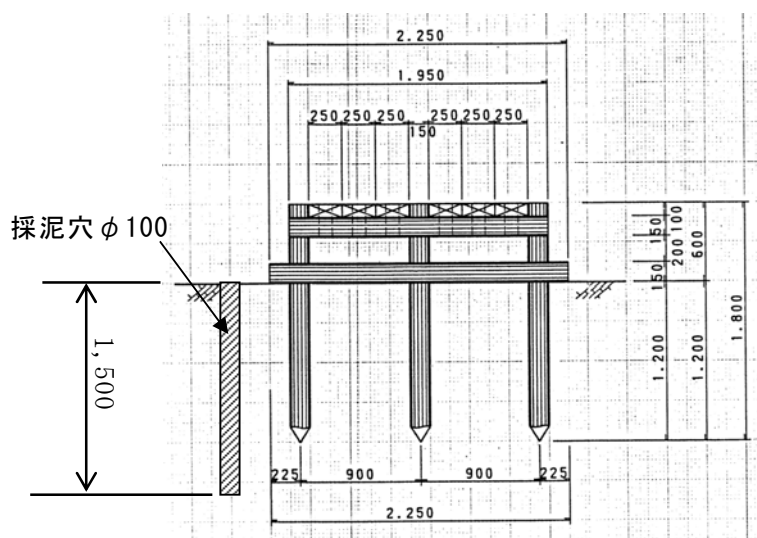


図 2-1 採泥深の根拠（既設木道標準図より）

4) 調査箇所・地点

調査箇所は、現歩道の問題箇所のうち、杭の打ち込みによる乾燥化の進行の可能性が指摘されている二の沼周辺南側木道部及び羅臼湖周辺部の2箇所とした。

調査は、表2-1及び図2-2に示す5地点で実施した。選定した地点は、乾燥化が進行していると見られる部分及び乾燥化していない部分から各箇所1地点、二の沼周辺南側木道部では、土砂流入による植生への影響も生じていることから、この部分においても1地点選定した。

表 2-1. 泥炭厚の調査地点及び選定根拠

地点	問題箇所	選定根拠
No. 1	二の沼周辺南側木道部	木道沿いでササが増え乾燥化が進行したと見られる地点
No. 2	二の沼周辺南側木道部	木道から3m程離れた湿生植物が生育している地点
No. 3	二の沼周辺南側木道部	木道沿いで斜面から流入した土砂が堆積している地点
No. 4	羅臼湖周辺部	木道沿いで乾燥化が進行したと見られる地点
No. 5	羅臼湖周辺部	木道から5m程離れたホロムイソウ等が優勢な地点

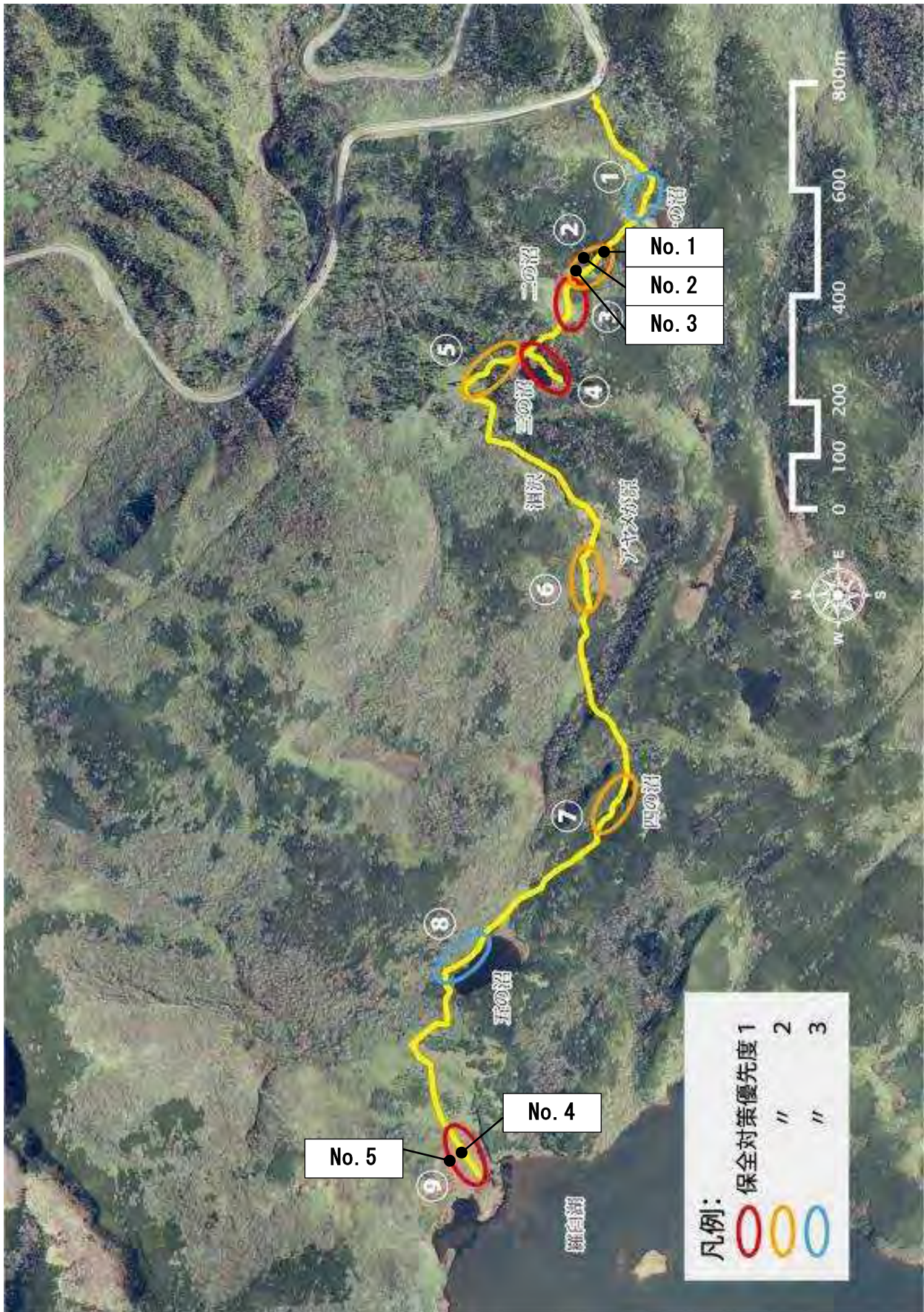


図 2-2. 泥炭厚の調査地点

(ベース図：平成 22 年度知床国立公園羅臼湖線歩道植生保全に向けた検討調査委託業務報告書より抜粋)

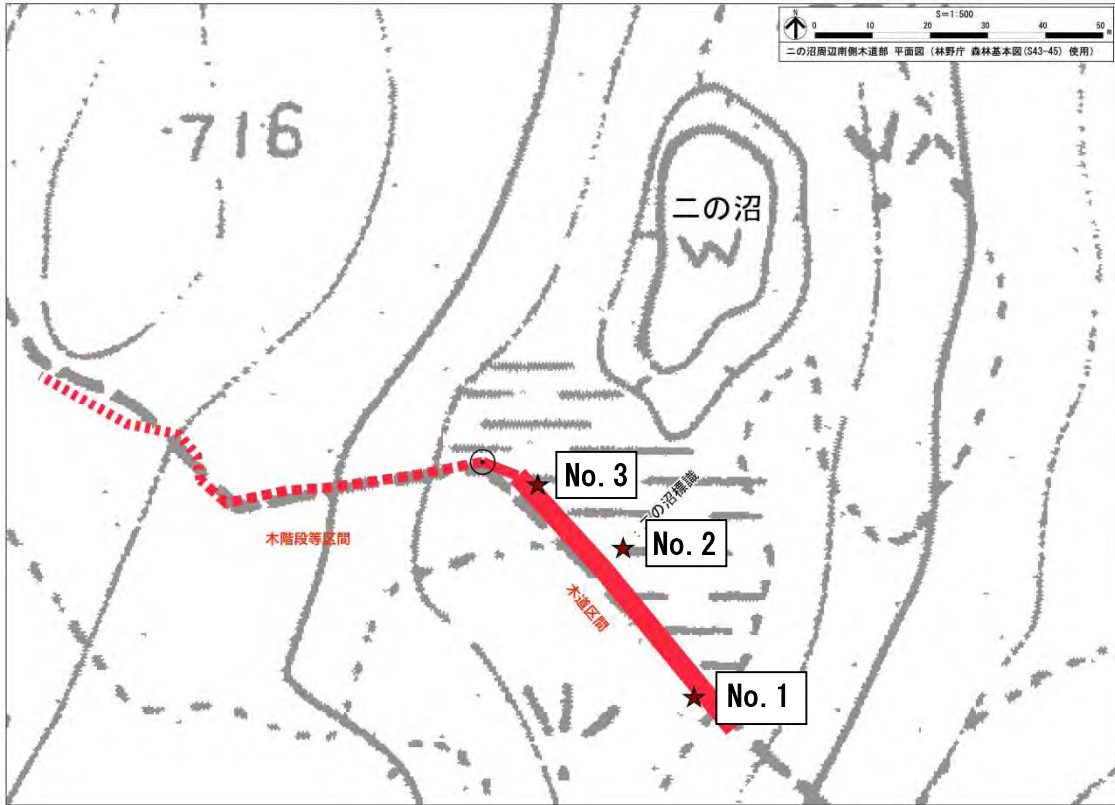


図 2-3. 二の沼周辺南側木道部における泥炭厚の調査地点

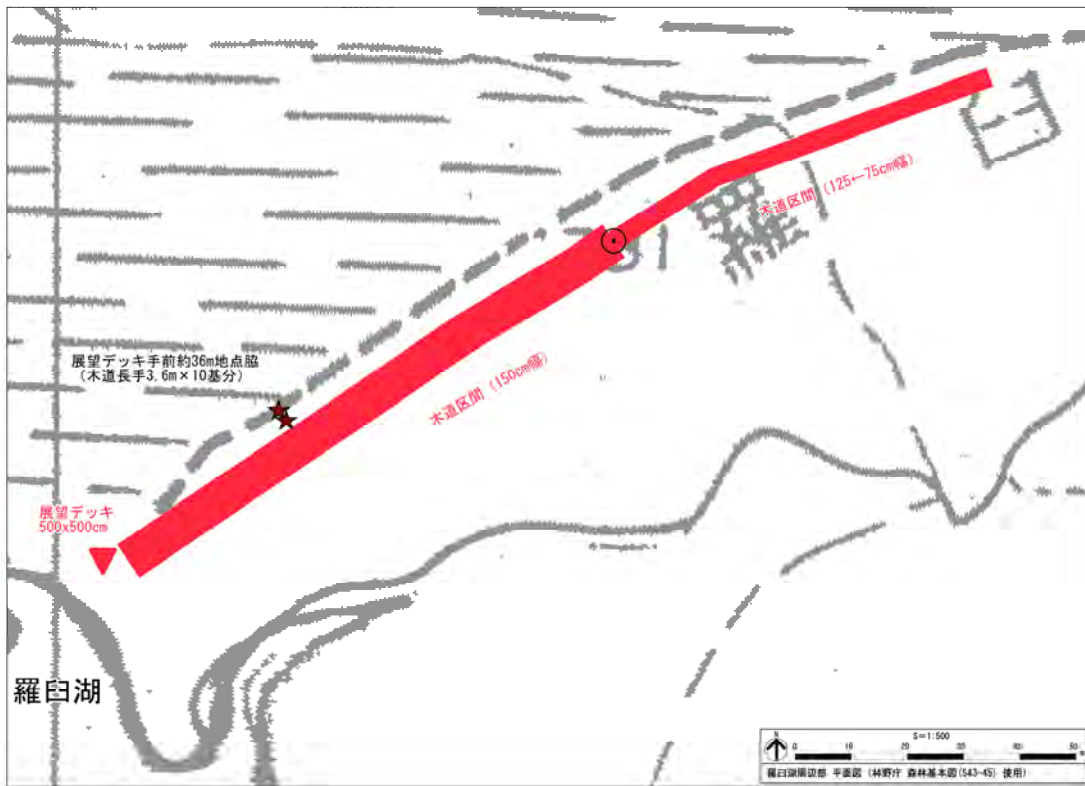


図 2-4. 羅臼湖周辺部における泥炭厚の調査地点

5) 調査結果

5-1) 二の沼周辺南側木道部

調査結果を表 2-2 に示す。

調査の結果、二の沼周辺南側木道部では、3 地点全てにおいて泥炭層は確認されなかった。

表 2-2. 二の沼周辺南側木道部

地点	総採泥深 (mm)	採泥深 (mm)	泥炭 有無	色	摘要
No. 1	950 ※石にあたり採泥不能	0~350	無	黒褐色	植物の根等を多数含む 有機物を含む土壌 (A0 層)
		350~600	無	暗褐色	植物の根を含まない 粒度が細かく湿潤な土壌
		600~700	無	褐色	植物の根を含まない 粒度がやや粗い土壌
		700~950	無	明褐色	植物の根を含まない 粒度はやや細かい土壌
No. 2	700 ※泥炭層がないため終了	0~70	無	褐色	植物の根や苔等が存在する 水分を多く含む
		70~150	無	暗褐色	植物の根を含む やや湿潤な土壌
		150~400	無	黒褐色	植物の根を含む
		400~500	無	灰色	植物を含まない 粒度はやや細かい土壌
		500~700	無	灰褐色	植物を含まない 粒度はやや細かい土壌
No. 3	1,350 ※石にあたり採泥不能	0~500	無	暗褐色	植物を含む 堆積した土砂
		500~550	無	褐色	粒径 5~10mm 程度の灰色の粒を含む層が 50~70mm ある
		550~700	無	褐色	植物を含まない 土壌中に灰色の粒が混じる
		700~850	無	黒褐色	植物を含まない 有機物を含む土壌
		850~1000	無	暗褐色	植物を含まない やや灰色で水分が多い土壌
		1000~1100	無	暗褐色	植物を含まない 粒度がやや粗い土壌
		1100~1200	無	明褐色	火山灰とみられる土壌 粒度が粗い
		1200~1350	無	暗褐色	植物の根が混入するが現在の植物の根が混じったと見られる

5-2) 羅臼湖周辺部

調査結果を表 2-3 に示す。

調査の結果、羅臼湖周辺部では両地点において泥炭層が確認された。

泥炭層の深さは 1200mm 程度であり、杭の打ち込み深さとほぼ同じであった。

表 2-3. 羅臼湖周辺

地点	総採泥深 (mm)	採泥深 (mm)	泥炭 有無	色	摘要
No. 4	1550	0~200	有	褐色	植物の根、未分解の植物含む 水分多い
		200~350	有	褐色	植物の根、未分解の植物含む 水分がより多くなる
		350~420	有	褐色	植物の根、未分解の植物含む 水分がより多く、コア内で形状とど めず（流れ出る）
		420~700	有	褐色	未分解の植物が細くなる 水分多い 掘りやすくなる
		700~770	有	明褐色	未分解の植物含む 火山灰を含む、やや水分が少ない
		770~950	有	褐色	未分解の植物をわずかに含む 粒度がやや粗くやや水分が少ない
		950~1200	有	灰褐色	未分解の植物をわずかに含む 粒度がやや細かい
		1200~1400	無	灰色	植物を含まない 粒度がやや粗くやや水分が少ない 土が冷たい
No. 5	1700	0~250	有	明褐色	植物の根やミズゴケ等が存在する 未分解の植物を多量に含む 200~250mm 付近で多量の水を含む
		250~600	有	褐色	植物の根や未分解植物を多量に含 む、湿潤
		600~900	有	褐色	未分解の植物が少なくなり、泥のよ うな状態
		900 付近 (30~50)	有	明褐色	未分解の植物をわずかに含む 火山灰（30~50mm）
		900~1200	有	褐色	未分解の植物をわずかに含む 粒度が細かく粘土に近い土
		1200~1350	有	黒褐色	未分解の植物をわずかに含む やや粒度が粗い
		1350~1550	無	灰色	植物を含まない 灰色の粘土に近い土、水分多い 土が冷たい
		1550~1700	無	明灰色	植物を含まない 粒度が粗くなる（砂状） 土が冷たい

【memo】